

QUALIFYING NEWS FLASH



Round
4

予選速報

2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第4戦 2011年8月7日(日) ツインリンクもてぎ

www.f-nippon.co.jp

発行人/編集人:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Series Supporter

八人気酒造



観光庁
Japan Tourism Agency

Take Free

ご自由におとりください



楽しみは倍以上!もてぎ2&4レース
デ・オリベイラ (TEAM IMPUL) が2戦連続ポールポジション!
塚越は2列目スタートから地元もてぎで初優勝を目指す

8月6日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第4戦の公式予選が、ツインリンクもてぎ(栃木県)で行われ、No.1 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ (TEAM IMPUL) が前戦に続き、連続のポールポジションを獲得した。

Q1では塚越広大が好タイムでトップに立つ

昼頃から真夏の太陽が顔を出し、一気に暑くなる。午後1時50分にQ1が開始された時点で、気温は34℃、路面温度は44℃まで上昇。多くのドライバーは、午前の練習走行に使用したユーズドタイヤでコースイン。マシンバランスを確認する。ルーキー勢のNo.3 アンドレア・カルダレリ (KONDO RACING)、No.33 国本雄資 (Project μ/cerumo・INGING)、No.62 嵯峨宏紀 (Le Beausset Motorsport)、No.18 アレクサンドレ・インペラトリ (SGC by KCMG) は、最初からニュータイヤを投入。セッション終盤には2セット目も使用。また、最初からニュータイヤを装着し、いきなり1分35秒997という好タイムをマークしたのが、ロッテラー。その他のマシンは、セットアップの確認が終わると、一旦ピットに戻り、ニュータイヤでのアタックのタイミングを待った。一方、ここでニュータイヤを使用しなかったのは、オリベイラ。ユーズドタイヤで1分36秒471をマークしていたオリベイラは、このタイムでQ1は突破できると判断。ニュータイヤをレースに向けて温存する作戦に出た。その結果、セッション終盤にトップタイムをマークしたのは、塚越。ロッテラーがそれに続いた。一方、Q1敗退は、No.8 石浦宏明 (Team KYGNUS SUNOCO)、今回スポット参戦のNo.11 武藤英紀



(HP REAL RACING)、嵯峨、インペラトリだった。

7分間のQ2は、午後2時20分開始。気温は34℃、路面温度は43℃。まず真先にコースに入ったのは、ロッテラー。これをきっかけに全車がニュータイヤでコースイン。1周目からアタックを敢行し、1分35秒946を叩き出したのはロッテラー。小暮も1周目からアタックに入るが、1分36秒544とタイムが伸びない。その他のドライバーは、2周目にアタック。ここで中嶋一貴が1分36秒065を叩き出し、2番手に浮上した。さらに、S字でハーフスピンしたオリベイラが3番手。以下、カルダレリのウォームアップラップに引っ掛かってしまったという塚越、No.16 山本尚貴 (TEAM 無限)、No.7 大嶋和也 (Team LeMans)、No.2 平手晃平 (TEAM IMPUL)、No.40 伊沢拓也 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING) が次々に自己ベストを更新。小暮のタイムを上回り、Q3進出を決めた。一方、敗退が決定したのは、小暮とNo.10 小林崇志 (HP REAL RACING)、国本、No.31 中嶋大祐 (NAKAJIMA RACING)、カルダレリの4人だった。

黒雲がQ3のアタックタイミングを変える

Q3が開始は午後2時37分。もてぎ上空は真っ黒な雲に覆われ、今にも雨が降り出しそう。セッション開始前にはウェット宣言も出た。そのため、セッション開始直前からピット出口には数台のマシンが待機。ここでもロッテラーが真っ先にコースイン。ロッテラーは、Q2同様、Q3でもすぐにアタックに突入し、1分35秒189と自己ベストタイムを更新してトップに立つ。伊沢も1周目からのアタックで、1分35秒943をマークした。さらに中嶋一貴も1周目に1分35秒841を出し、伊沢を上回ってくる。その他のドライバーは2周目にアタック。

ここで、一気にロッテラーのタイムを上回ったのがオリベイラ。オリベイラはとこところ暴れるマシンを押しさえつながらの豪快な走り、1分35秒012を叩き出した。チェッカー目前には、塚越もタイムアップした。その結果、オリベイラが前戦に続いて2戦連続のポールポジションを獲得した。



中上貴品が絶好調! 2戦連続ポールポジションを獲得!!

中上貴品が自身の持つコースレコードを更新! 決勝レースは、今回も一人旅になるか!?
調子上げている関口太郎と稲垣誠、トラブルを乗り越えた小山知良などが中上を止めることができるか!?

J-GP2

予選速報は中面です!

Pole Position No.1 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL

トータルで見ればいい1日になったね



(震災の被害を受け)コースの路面が一部新しく舗装されたことから、コンディションが良くなったね。舗装が前のままの場所もあるけれど、グリップも上がったしすごく走りやすくなった。だからその分、特に古い路面でのコーナリングは走りづらかった。今日一日を振り返ると、まだ少しセットアップで改善できる部分はあるだろうけど、トータルで見ればいい1日になったね。アンドレ(・ロッター)はいつもアタック1周目からタイムを出しに行ってたようだけど、僕の場合はQ3でもいつもどおり。2周目でタイムを出しに行った。とにかくウォームアップには時間を掛ける、タイヤの温度を上げるっていうことを意識してアタックしたんだ。決勝の戦略は、明日の朝、フリー走行が終わってから考えることになる。周りのクルマの様子や、ガソリンとタイヤの相性など、色々確認してから作戦を決めることになるだろうね。

困難に負けない! がんばろう! 北関東&もてぎ!!
諦めない者にこそ、女神は微笑む。さあ勝負はこれからだ。

2nd No.36 アンドレ・ロッター PETRONAS TEAM TOM'S



クルマの仕上がりを判断するのが難しかった

僕にとってはフリープラクティスのほうが良かったね。最終的にいいクルマを用意することはできたけど。コースの舗装が一部新しくなって、乗りやすくなってはいたけれど、一部が古いのでちょっと油断できないような感じだし、慣れない部分もあったから、クルマの仕上がりを判断するのが難しかったよ。セット変更を重ねて、まとめることはできたけど。予選はいつもどおり。結果として、またポールポジションを獲得できなかったってことさ(苦笑)。明日は明日のこと、また決勝に向けてがんばらないとね。

3rd No.41 塚越 広大 DOCOMO TEAM DANDELION RACING



セッティング変更でクルマの調子も良くなった

朝の練習走行ではベストな状態ではなかったので、予選に向けて、持ち込みのセッティングから大幅に変えることにしました。ただ、冒険したわけではなく(エンジニアの田中)耕太郎さんと話をして、実績のあるセットを選んだので、自信をもって変更できましたし、心配なく走れました。思っていたとおり、クルマの調子も良くなったし、大きなミスもなく走ることができました。できれば最初からそのクルマがあれば、もっと上手く乗りこなせていたかと思います。今回は地元のあるセットを選んだので、自信をもって変更できましたし、心配なく走れました。思っていたとおり、クルマの調子も良くなったし、大きなミスもなく走ることができました。できれば最初からそのクルマがあれば、もっと上手く乗りこなせていたかと思います。今回は地元のあるセットを選んだので、自信をもって変更できました

4th No.37 中嶋 一貴 PETRONAS TEAM TOM'S



手応えの割にはいいところに行けたと思う

もてぎを走るのは久しぶりです。クルマはそんなに悪くはなかったんですが、要は自分なりにもうちょっとだったかな、と。自分自身がイマイチで、トラフィックもあって、もう一歩だったかあ。とはいえ4番手に居られるので、自分の手応えの割にはいいところに行けたんじゃないかなと思います。でも、また上位2台が飛びぬけて速いですよね。そこに絡んでいかなきゃいけないことを考えると、まだまだなのかな。新しくなった路面ですか? そもそもコースが久しぶりだから何も気にならないですよ(笑)。

5th No.40 伊沢 拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING



もてぎなのでホンダが勝たないといけない

もっと(上位)に行きたかったですね。でも今回はQ3に残れませんでした。欲を言えばもう1つくらい上行けたかな。でもこの位置からだとおもしろい戦いができるのではないかな、と思います。明日は前戦富士より50km長いぶん、作戦が難しくなると思うんです。どのタイミングでどれだけ給油するかによって、結果に影響が出るかもしれない。明日の朝走って、様子が見えてくると思います。トップ2台のペースが速いでしょうが、しっかりとついていきたい。もてぎなので、ホンダが勝たないといけないんじゃないかなって思いますね。

天候は? ピット作戦は? フリー走行から各チームの動向を注目せよ!

6日は予選後激しい雷雨に見舞われたツインリンクもてぎ。だが、決勝日はドライコンディションではないかと予想されている。暑くなれば、タイヤにもブレーキにも厳しくなるのが、もてぎのレースだが一体どんな展開となるのか。今回のレースは距離が250km、52周だが、その中で2回のタイヤ交換(4本)が義務付けられている。ここで鍵を握るのは、やはりピットインのタイミング。さらには、スタート時の

燃料搭載量もキーポイントとなるだろう。

3月11日に起きた東日本大震災で、もてぎのロードコースはダメージを受けた。そのため5コーナーから130RにかけてとV字、バックストレートの真ん中あたりという3ヶ所を除き、路面が張り替えられている。この新路面はグリップが高く、今までよりブレーキで突っ込めるが、そうなるとブレーキへの負担は大きくなる。また、タイヤへの攻撃性が高いという一面もあ



るため、フルタンクでスタートすべきかどうか、各チームともに頭を悩ませるところだ。レース作戦を決めるのは、朝のフリー走行から。まずは予選上位陣が、

フリー走行でどのようなラップを刻むのか? そして、小暮を筆頭にグリッド中段勢がどんな作戦に出るのか? レースが始まる前から楽しみそうだ。

“FNサタデーミーティング”に武藤が登場 「急に決まったんですが、走っていてすごく楽しいです」

前戦の富士から始まった「フォーミュラ・ニッポンサタデーミーティング」。話題のドライバーを招いての記者会見が、このもてぎでも開催された。今回は、昨年までアメリカのインディーカー・シリーズに参戦していたNo.11 武藤英紀(HP REAL RACING)が登場。武藤は2006年にフォーミュラ・ニッポンに初参戦し、翌年に渡米した。今回の参戦については1週間前に福岡でのトレーニング合宿から帰った空港で連絡を受けたという。「前からフォーミュラ・ニッポンには乗りたいと思っていた」と言う武藤は、

スポット参戦を快諾。事前テストもなく、いきなりの前選日となった。「走っていてすごく楽しいです。朝(練習走行)は初心者運転みたいでしたね(笑)」と言いながらも11番手。「この参戦を先に繋げていきたい。良い走りをしてアピールしたいですね」と言う。インディーとのマシンの違いを問われると「フィーリングは似ている。インディーカーは低速、FNは高速コーナーが速いかな」と語った。

ミーティングの後半は、前回に続いてフォーミュラ・ニッポンをシリーズで統括するするJRPの白井



裕社長が最近のFN事業の状況を説明した。ハイブリッドシステムの“システム E”に関しては少し遅れが出て、9月中旬に鈴鹿でシェイクダウンを行うことになったと報告。また、レース運営面では、第3戦、第4戦と続けたタイヤ交換義務の2回ピッ



トインを今後も行っていく(2レース制の最終戦除く)とした。来季の開催スケジュールは間もなくJAFより発表されるが、今季同様に全7戦プラス特別戦で、2&4レースも今季3大会実施したが、好評なので来年も何度か試みたいとしていた。

Team Pit

1	2	*	*	36	37	*	*	*	31	32	*	*	40	41	*	*	*	*	7	8	*	*	*	10	11	*	18	*	*	33	*	*	16	*	*	*	*	3	*	*	62
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42

◀ 1st Corner Pit Road

2011 MFJ SUPERBIKE Rd.4 MOTEGI SUPER 2&4 RACE / J-GP2
QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW
MFJ SUPERBIKE ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

SUPERBIKE EXPRESS

EXtra, EXpert and EXtreme

中上貴晶がレコード更新! 今回も圧勝となるか!?

中上を止めたい関口太郎、稲垣誠、小山知良

山口辰也、生形秀之、野田弘樹などの実力派にも注目!

ツインリンクもてぎで初めてとなる2&4レースは、4輪の最高峰フォーミュラ・ニッポンと全日本F3、全日本ロードレース選手権第4戦は、昨年、誕生したばかりの全日本J-GP2クラスの競演となった。J-GP2クラスは、7月上旬に行われた第3戦以来、2戦連続でツインリンクもてぎ開催となる。7月のレースでは、中上貴晶がポールtoフィニッシュを決め圧勝。2位に関口太郎、3位に小山知良が入り、世界で活躍した経験を持つ3人が表彰台を占める結果となった。

世界へ戻ることを目標にしている19歳の中上は、昨年のMoto2クラスのタイム、1分53秒台をターゲットにしている。中上のマシンは、市販Honda CBR600RRをベースにしているが、昨年、チームの先輩である小西良輝が造り上げてきたマシン。レーサーのようなハンドリングを実現し、高い次元で仕上がっている。今回のレースウイークに入っても、金曜日にいきなり1分54秒435をマークし、非公式ながらコースレコードを更新すると「1分53秒台が見えてきた」と語っていた。この時点で、2番手の山口辰也を1秒730も引き離しており、今回も第3戦に続き、ワンサイドレースになることが予想された。

土曜日の公式予選は、お昼の一番暑い時間帯に50分間のセッション1本で行われた。この日より走り始めたフォーミュラ・ニッポンのタイヤのラバー(タイヤカス)の影響が心配されたが、それよりも前日より20度も上がった路面温度に各ライダーは、悩まされることになる。

この厳しいコンディションの下、中上は、違うコンパウンドのフロントタイヤを試すが、これがいい方向にいかず、元に戻して最後のアタック



「まだまだやるのが盛りだくさん」と言う関口が2番手グリッドを確保



マシンが仕上がってきた稲垣誠は、調子を上げてきている

クで1分54秒717をマーク。自身の持つコースレコードを更新するが、目標の53秒台は遠かった。「悔しいですね。チームもボク自身もタイムを出すつもりでしたから、決勝で何とか53秒台に入れたいですね」と中上。とは言っても、2番手の関口太郎を0秒499引き離しており、今回も中上が逃げる可能性は高いと言えるだろう。3番手に「リンク周りのパーツを変えてマシンのセットもよくなってきている」と言う稲垣誠と続いた。

前回3位となった“コヤマックス”こと小山知良は、今回はマシントラブルに悩まされている。その中でも、予選では4番手につける走りを披露。「決勝には、いい状態で臨めそうなので楽しみです。また表彰台に上られるように全力でいきます」とコヤマックス。

佐藤周が5番手、中本郡が6番手と、それぞれ健闘し、ST600クラスをリードしている山口辰也は路面温度の上昇に悩まされ7番手に沈んだ。テスト中に転倒し、左小指の付け根を骨折してしまった野左根航汰は、痛みをこらえながらも10番手につけた。

決勝は、中上が逃げ、それに関口、稲垣、小山が、どこまで追えるかによって、レース展開が決まってくるはず。今のところ中上の2連続の可能性は高いと言えるだろう。

POLE POSITION INTERVIEW

1'54.717
No.634 中上 貴晶
MuSASHI/HALUK・プロ



「金曜日に54秒4が出たので“53秒台が見えてきたかなあ”と思っていましたが、予選では、前日に比べて20度近く路面温度が上がってしまいました。途中で違うコンパウンドのフロントタイヤを試してみたのですが、それがいい方向に行かず時間をロスしてしまったのがもったいなかったですね。最後にアタックしようとしたら、詰まってしまったので、ゆっくり走って気を取り直してアタックしたら、2周連続で54秒7をマークできました。決勝は、53秒台を出す、今年最後のチャンスなので、スタートを決めてオープニングラップから全開でいきたいと思っています」

決勝レースでコースレコード更新を狙っている中上貴晶。連勝なるか!?



RIDING SPORT SINCE 1982

KT Electronics
KTEL
Laboratory

Formula
NIPPON '11

モータースポーツ

モータースポーツの
リーディングペーパー

購読のお申し込みは

TEL 0120-026-999
FAX 0120-026-993

http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:

JRP
Japan race promotion inc.

株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131
http://www.f-nippon.co.jp

編集制作: 株式会社サンズ / フォトグラファー: 小林稔、田村裕

Support races result (top10)

ホンダエキサイトンカップワンメイクレース2011 シビック インターシリーズ第3戦 予選結果

Po	No	Driver	Car	Time
1	2	谷口 信輝	M7 JAPANプロムシビック	2'12.304
2	13	トモアキ	DIXCELカース東海SSR	2'12.392
3	8	伊藤 博之	DRAWING MSuMoty's FD2	2'12.502
4	919	菊地 靖	クイックウォッシュLRPシビック	2'12.533
5	4	太田 侑弥	BRIDE-ED-PETRONAS-FD2	2'12.652
6	57	後藤 比東至	SEV-MART-ED-CIVIC	2'12.885
7	7	大西 隆生	オートバックスG-7HDCIVIC	2'12.892
8	11	伊藤 真一	ガレージエディフィスEDFD2	2'13.349
9	17	金石 年弘	Keihin EnjoyHondaCIVIC	2'13.365
10	16	北野 浩正	NUTEK制動屋GPO東野R	2'13.373

天気:曇り / コースドライ / 出走:15台

ホンダエキサイトンカップワンメイクレース2011 シビック 東日本シリーズ第2戦 予選結果

Po	No	Driver	Car	Time
1	68	並木 重和	ENEOS-EDワゴスCIVIC	2'13.834
2	70	小林 つねはる	BOSS-HKSメックシビック	2'13.861
3	38	姜 誠浩	1KOREA制動屋SSRシビック	2'14.281
4	100	ライオン丸	がんばっぺ宮城ありがとうSTA	2'14.319
5	24	Takamori博士	ディジョンレーシングCIVIC	2'14.489
6	92	青柳 クニトシ	VT-aアーテックCGシビック	2'14.811
7	44	伊藤 秀昭	Wads-SPM-μシビック	2'17.499

天気:曇り / コースドライ / 出走:7台

2011年全日本フォーミュラ3選手権 第9戦 予選結果

Po	No	Class	Driver	Car	Time
1	50	C	関口 雄飛	B-MAX F308	1'46.530
2	12	C	安田 裕信	ThreeBond	1'47.020
3	5	C	山内 英輝	PLANEX/ハナシマ F308	1'47.271
4	36	C	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F308	1'47.374
5	1	C	蒲生 尚弥	PETRONAS TOM'S F308	1'48.037
6	19	C	西本 直樹	SGC by KCMG	1'48.420
7	23	N	千代 勝正	NDDP RACING	1'48.971
8	20	N	Gary Thompson	SGC by KCMG	1'49.376
9	22	N	佐々木 大樹	NDDP RACING	1'49.537
10	7	N	三浦 和樹	HFDP RACING F307	1'49.549

天気:曇り / コースドライ / 出走:14台 / C:クラス、N:ノクラス

J-GP2 Starting Grid Race start: 12:50

PP634	中上 貴晶	MuSASHIRTハルクプロ	R 1'54.717
2	15	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE 1'55.216
3	77	稲垣 誠	伊藤レーシングGMDアケス 1'55.820
4	71	小山 知良	C.I.P.TNU 1'56.152
5	21	佐藤 周	MST☆TAMITON-R 1'56.424
6	56	中本 郡	リリカAMENARTOutRun 1'56.566
7	2	山口 辰也	TOHO Racing 1'56.652
8	3	生形 秀之	エスパルストリームレーシング 1'56.701
9	51	高橋 英倫	松戸フラッシュ&PLUSONE 1'57.051
10	31	野左根 航汰	ウエビックチームブリックヤマハ 1'57.557
11	99	野田 弘樹	テルルハニービーレーシング 1'57.927
12	88	大木 崇行	MOTO BUM HONDA 1'58.188
13	41	豊田 浩史	4IPLANNING/PRO-TEC 1'58.611
14	57	齋藤 達郎	TEAM NORICKMATE 1'59.069
15	46	星野 知也	ミクニBeatテラー&カー 1'59.835
16	9	小口 亘	ALLMAN&OWRACING 2'00.904
17	24	小口 理	ALLMAN&OWracing 2'00.933
18	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング 2'01.889

予選日: 2011年8月6日(土) 出走18台
 天気: 晴れ / 路面: ドライ
 予選通過標準タイム: 2'06.188 (110%)
 *R: コースレコード
 ※本グリッドは公式予選結果を元に予選速報編集部で作成したもので、主催者による公式発表ではありません。

イベントステージ

グランドスタンドプラザ特設ステージでは、フォーミュラ・ニッポン、J-GP2のイベントや華やかなキャンペーンガールのステージなどをお楽しみいただけます。

08:00~08:20 ツインリンクもてぎエンジェルとコチラレーシングのイベント施設紹介
 09:00~09:20 コチラレーシングのわかるかな? モータースポーツ講座
 09:40~10:00 キャンギャルオンステージ
 10:15~10:45 フォーミュラ・ニッポン ドライバーグッズのチャリティオークション
 11:00~11:20 J-GP2トークショー 世界選手権を目標にして~若手ライダーの育成~
 13:15~13:35 いばらきメロンPresents クイズステージ
 16:10~16:30 フォーミュラ・ニッポン優勝者当選クイズ 当選ステージ
 16:40~17:00 若手ライダーユニット「R4」ライブステージ

ピットウォーク

レーシングマシンをもっと間近でみたい! マシンやキャンペーンギャルを撮影したい! お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。

日時・場所: 8/7(日) 11:35~12:20 / ピットロード
 参加料金: 1,000円(3歳以上共通)
 集合場所: グランドスタンド裏4番ゲート付近
 ※前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォーク券の販売はございません。

J SPORTS J SPORTSではFormula NIPPONを全戦放映。サーキットにJ SPORTS 来場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

決勝 8/7(日) 14:00~17:00 第4戦 決勝 ツインリンクもてぎ J sports 1 (ハイビジョン・生放送)
 決勝再放送 8/8(月) 25:30~28:00 第4戦 決勝 ツインリンクもてぎ J sports 1
 8/9(火) 11:00~13:30 第4戦 決勝 ツインリンクもてぎ J sports 1
 ○番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f_nihon/
 「10ミニッツ ~フォーミュラ・ニッポン2011 ダイジェスト~ 第4戦」
 8/17(水) 17:35~17:45 J sports 1 / 8/19(金) 25:50~26:00 J sports 2 ほまか

BSフジ フライムメディア 決勝日の翌週金曜日(再放送は翌土曜日)にレースダイジェストを放映します。

フォーミュラ・ニッポン2011 第4戦 ツインリンクもてぎ
 8/12(金) 23:00~23:55 [再放送: 8/13(土) 11:00~11:55]
 ○番組ホームページ: http://www.bs-fuji.tv/top/pub/formura2011.html

GyaO! GyaO!(オンデマンド放送) 決勝終了10日後 24:00~より配信します。

GAORA 「2011 全日本ロードレース選手権 第4戦 J-GP2」放送スケジュール
 08/15(月) 20:00~22:00 Ch.602[HD] / Ch.302
 08/18(木) 06:00~08:00 Ch.602[HD] / Ch.302

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイト
 http://motorsports.ch/fn/index.php
 いつでもフォーミュラ・ニッポンを携帯できる。スマートフォン全キャリアに対応し、動画などの新しいコンテンツも強化。「Formula NIPPONメール」に無料登録すれば、素敵なプレゼント企画など、さらに楽しみが広がります!

*フォーミュラ・ニッポンオフィシャル携帯サイト(スマートフォン版共通)は、モータースポーツ総合情報携帯サイト「モータースポーツチャンネル」内無料特設サイトとして運営しています。

2011年全日本フォーミュラ3選手権 第8戦 決勝結果

Po	No	Class	Driver	Car	Time/Gap
1	50	C	関口 雄飛	B-MAX F308	1:33'30.813
2	1	C	蒲生 尚弥	PETRONAS TOM'S F308	+ 3.469
3	12	C	安田 裕信	ThreeBond	+ 9.507
4	36	C	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F308	+ 9.875
5	5	C	山内 英輝	PLANEX/ハナシマ F308	+ 10.223
6	23	N	千代 勝正	NDDP RACING	+ 15.382
7	37	N	中山 雄一	TDP SPIRIT F306	+ 32.699
8	8	N	野尻 智紀	HFDP RACING F307	+ 35.371
9	22	N	佐々木 大樹	NDDP RACING	+ 37.892
10	7	N	三浦 和樹	HFDP RACING F307	+ 38.476

周回:14周 / 天気:雨 / コースウェット / 出走:14台 / C:クラス、N:ノクラス ※悪天候による1時間4分14秒の中断を含む

Formula NIPPON Starting Grid Race start: 14:30

1	P.P.	ジョアバオロ・デ・オリベイラ	TEAM IMPUL TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.471 Q2: 1'36.113 Q3: 1'35.012
2	36	アンドレ・ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K	Q1: 1'35.997 Q2: 1'35.496 Q3: 1'35.189
3	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING HONDA HR10E	Q1: 1'35.921 Q2: 1'36.178 Q3: 1'35.489
4	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.300 Q2: 1'36.065 Q3: 1'35.841
5	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING HONDA HR10E	Q1: 1'36.487 Q2: 1'36.536 Q3: 1'35.943
6	7	大嶋 和也	Team LeMans TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.476 Q2: 1'36.441 Q3: 1'36.041
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限 HONDA HR10E	Q1: 1'36.650 Q2: 1'36.427 Q3: 1'36.044
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.013 Q2: 1'36.448 Q3: 1'36.375
9	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING HONDA HR10E	Q1: 1'36.298 Q2: 1'36.544
10	10	小林 崇志	HP REAL RACING HONDA HR10E	Q1: 1'36.507 Q2: 1'36.746
11	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING HONDA HR10E	Q1: 1'36.765 Q2: 1'36.906
12	33	国本 雄資	Project u / cerumo-INGING TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.937 Q2: 1'44.804
13	3	アンドレア・カルダレリ	KONDO RACING TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.797 Q2: 計測できず
14	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO TOYOTA RV8K	Q1: 1'36.945
15	11	武藤 英紀	HP REAL RACING HONDA HR10E	Q1: 1'37.049
16	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports TOYOTA RV8K	Q1: 1'37.611
17	18	アレクサンドレ・インベラトリー	SGC by KCMG TOYOTA RV8K	Q1: 1'37.781

予選日: 2011年8月6日(土) 出走17台
 Q1: 天気: 晴れ / 路面: ドライ
 Q2: 天気: 晴れ / 路面: ドライ
 Q3: 天気: 曇り / 路面: ドライ
 予選通過標準タイム: 1'42.635 / Q1/107%

※本グリッドは公式予選結果を元に予選速報編集部で作成したもので、主催者による公式発表ではありません。

タイムスケジュール(決勝日)

8:00 >>	8:20	J-GP2 フリー走行
8:35 >>	9:05	Formula NIPPONフリー走行
9:35 >>		シビック 決勝 (14周)
10:40 >>		F3 Round9 決勝 (20周)
11:35 >>	12:20	PIT WALK
12:50 >>		J-GP2 決勝 (15周)
14:30 >>		Formula NIPPON Rd.4 決勝 (52周)

POINT STANDINGS 第3戦終了時点

Po.	No.	Driver	Point
1	37	中嶋 一貴	22
2	36	アンドレ・ロッチェラー	20
3	1	ジョアバオロ・デ・オリベイラ	14
4	41	塚越 広大	13
5	7	大嶋 和也	12
6	32	小暮 卓史	10
7	2	平手 晃平	9
8	40	伊沢 拓也	8
9	16	山本 尚貴	5
10	8	石浦 宏明	4
11	18	アレクサンドレ・インベラトリー	2
12	31	中嶋 大祐	1

2011 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1	5/14,15	鈴鹿サーキット	Rd.5	9/3,4	鈴鹿サーキット
Rd.2	6/4,5	オートポリス	Rd.6	9/24,25	スポーツランドSUGO
Rd.3	7/16,17	富士スピードウェイ	Rd.7	11/5,6	ツインリンクもてぎ
Rd.4	8/6,7	ツインリンクもてぎ	SPL	11/12,13	FUJI SPRINT CUP